

	経済学特殊講義	EK1306	毎年度、異なった領域を研究する教員が交代で、教員の専門領域の中から特定のテーマについて講義を行う。その後、そのテーマについての課題を受講学生に与え、学生がその課題についてのレポートを行う。	○	◎	◎				◎	◎		○
応用経済と経済政策	財政学1	EK2314	わが国の財政の現状とその問題点を理解する。課税の経済効果や望ましい課税に求められる原則について理解する。我が国の年金制度の直面する問題点の理解を深める。	◎	◎		◎	○				○	
	財政学2	EK3303	わが国の財政の現状とその問題点を理解する。課税の経済効果や望ましい課税に求められる原則について理解する。我が国の年金制度の直面する問題点の理解を深める。	◎	◎		◎	○				○	
	公共経済学	EK3304	市場の機能と政府の役割、公共財の理論、最適公共支出の決定、外部性による市場の失敗と外部性の内部化、自然独占市場とその公的規制などについて理解を深める。	◎	◎		○				◎		
	金融論 1	EK2315	現実の金融諸問題についての理解を深めるために、中級レベルとしての金融理論及び分析手法や実際の金融知識を習得する。特に金融システムに関連したテーマを扱う。	○	◎		○		○		◎		
	金融論 2	EK3305	外国為替の仕組みや役割を学びながら最近までの国際金融の動きや変化を捉える。	○	◎		○		○		◎		
	国際経済学 1	EK2316	国際分業の理解を深める。WTOの下での貿易政策のケーススタディを行う。金融政策と為替レートとの関係を学ぶ。	○	◎	◎	◎	○				○	
	国際経済学 2	EK3306	国際経済学の基本理論の理解を基礎に、現代的なトピックス（貿易と環境、情報技術の発展と国際分業など）への応用分野を学ぶ。	○	◎	◎	◎	○				○	
	経済政策論	EK2317	市場メカニズムを中心に営まれる経済において、政府の公共政策が果たすべき役割と意義、ならびにその機能を、厚生経済学、公共経済学の理論的基礎に立って、体系的な理解を得ることを目的とする。	◎	◎		○				◎		
	産業組織論	EK3307	SCPパラダイムを学び、企業の様々な戦略的行動と独占禁止法との関わりを理解することを目的とする。		○	○	◎	◎			○		
	労働経済学	EK2318	現代社会に幅広く存在する労働問題をデータを基にして理解し、経済学のツールを用いて解決策を自ら導くことができることを目的とする。	◎	○	○	○					○	△
	社会保障論	EK3308	社会保障の必要性および歴史と理念、制度と機能、現状と課題を概観し、医療保障・所得保障・介護保障の現状と課題について理解を深めることができる。	◎			○	○			◎	○	
	資源経済学	EK2319	天然資源に関する経済理論や市場特性を理解し、内外の資源問題を自らの生活と関連付けて考え、問題解決の方策を思案できる。	◎	◎			◎			○	○	
	資源・エネルギー政策	EK3309	経済社会活動に不可欠なエネルギーを軸とした課題と政策を理解し、国際的な視野から課題解決に向けた政府と個人の取組みを提案できる。	◎	◎			◎			○	○	
	環境経済学	EK2320	環境問題の経済理論的説明ができるようになり、経済成長と環境保全のトレード・オフ、およびその切り離しを理解する。	◎	○		◎				◎	○	
	エコロジー経済論	EK3310	人類が地球という星で経済活動をする際に直面する生態学的、物理的諸制約を理解する。	○			○				◎	◎	○
	各国経済と歴史	経済史 1	EK2321	アジアとヨーロッパ間における経済的関係の形成過程を通して、国際関係・秩序の構造と論理を理解する。	◎	△	○	○	○			△	○
経済史 2		EK2322	ヨーロッパ中世商業革命・市場経済システム、主権国民国家・市民革命・産業革命、グローバリゼーション、勢力均衡、ドイツ国民国家の理解を目指す。	○	○		◎	○			○		
外国経済論 1		EK2323	アジア各国経済を、植民地支配からの独立と経済発展、さらには地域経済統合に至るまで俯瞰し、アジア各国の地域固有の成長戦略から現在直面する課題を検討し、その多様な経済社会の理解を目指す。	◎	○			◎		○	○	◎	
外国経済論 2		EK3311	旧ソビエト連邦から現在のロシア共和国に到る社会主義体制の変遷と、それに対抗する統一欧州経済圏の目的と意義を明らかにすると共に、日本を含むアジアと欧米各国との経済関係を明らかにする。	◎	○			◎		○	○	◎	
現代日本経済史		EK2324	戦後日本経済を6つの期間にわけ、その各期で日本経済が直面した課題を理解し、当時の政府がどのような対策をとれたのか、またとれなかったのかを明らかにする。	◎	○		◎	◎			△		
日本経済論		EK2325	戦後日本の経済を戦後改革、朝鮮戦争、高度成長、1970年代以降の外的ショックと対応の時期で解明する。	○			◎	◎			○		
開発経済学		EK3312	現在も問題視され続けている経済格差・貧困をもたらす要因・背景を明らかにして、その対策を考えることが目的である。	◎	○			◎		○	◎	◎	
外書講読		EK2326	外国語で記載された経済に関する資料を読み、問題背景や各国の経済事情を理解する。	○						◎		○	
経済英語		EK2327	身近な世界企業の成功と失敗の歴史と現状について英語を通じて具体例を学習する。これにより企業が抱える問題を理解し、また英語のコミュニケーション能力を養う。	◎					◎		○	○	
法学		法学概論	EK2328	私たちが「モノ」を買う、車を運転する、好きな人と結婚する、親から財産を相続するなどといった日常生活での通常の行為と密接な関係にある「法」について学ぶ。	◎			○	◎	○			
	憲法概論	EK2329	「国の最高法規」「国の基本法」である憲法が制定された背景と意義、現代社会における憲法論議について学ぶ。	◎			○	◎	○				
	民法	EK2330	私法の一般法である民法を学ぶ。講義では総則・物権・債権を中心に解説し、経済社会で不可欠な契約や不法行為に対する法的思考を養うことを目的とする。	○				◎			◎	○	
	会社法	EK3313	商法とは、一定の計画に基づき、継続的意図をもって営利活動を行う「企業」を対象とする法であり、企業の特異性から、同じく私人間の関係について定めた民法とは異なる考え方が基本原理となっている。この授業では実際の判例などを紹介しつつ、「商法」の理解を深める。	◎			○	◎		○	○	○	

学科展開科目

各国経済と歴史

